

< 集団討論課題（民間企業等経験者対象） >

集団討論については、試験日の午前、午後(いずれか受験)ごとに以下の課題の中から1題を出題しました。掲載している課題につきましては、出題内容を一部加工して掲載しています。

なお、課題については、グループ内で活発に議論を行っていただくため、様々な分野から出題しています。

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に広がったテレワークについて、労働時間の減少や生産性の向上、多様で柔軟な働き方の推進など様々な効果が期待されています。  
しかし、民間調査会社が、令和3年8月に実施した調査によると、熊本県内のテレワーク実施率は、全国平均を下回っています。  
熊本県として、より一層テレワークを推進していくにあたって、考えられる課題とその対策について、グループ内で討論してください。
  
- 本県の人口は、平成10年を境に減少傾向にあり、令和元年時点で174.8万人となっています。このまま何も対策を講じなければ、本県の令和42年の人口は約124.3万人となるとの推計もあり、地域経済への広範囲な影響や地域文化や地域コミュニティの維持・存続等にも支障が生じることが懸念されています。  
そこで、本県に人々を呼び込み、また、本県に人々がとどまるためにはどのような方策が有効か、本県の現状や課題を踏まえ、グループ内で討論してください。